

(別紙様式2)

普及指導員調査研究報告書

課題名：岩国地域におけるクリ「岸根」の着穂状況調査

所属名：岩国農林水産事務所

担当者氏名：増富義治、中野良正

<活動事例の要旨>

管内のクリ主力品種である「岸根」は、近年、生産者の管理不足等もあり、生産量の低下が著しい。そこで特に着花（穂）に影響の大きい結果母枝の状況を調査し、現状把握を行った。

1 普及活動の課題・目標

くりは岩国地域（岩国市、和木町）の特産品として、沿岸部を除くほぼ全域で栽培されており、中でも産地の主力は美和地区及び南河内地区で過疎・高齢化が顕著な中山間地域である。くりの需要は高く、関西を中心に出荷しているが、生産者の高齢化による離農や園地の老木化、獣害の拡大等で面積や生産量が減少し、実需者の要望に応えられていない状況である。

特に、老木園に加え管理不足園が多いため、現状を把握するため着穂状況を調査し今後の活動の資とする。

2 普及活動の内容

○結果母枝の違いによる着穂状況・着穂率の調査

2園（N園、M園）においてそれぞれ成木区とカットバック区（5年経過後）の結果母枝の状況調査を行った。

品種：岸根 樹齢：40年以上

調査方法：1樹当たり結果母枝10本を選定し調査を実施

調査項目：結果母枝（前年結果枝、発育枝）の長さ、基部径（枝元の長径）、先端部径（先端の3芽と4芽の中間部の長径）、新梢数、結果枝数、新梢及び結果枝の各長さ、着穂数、着穂率、受粉樹（他品種）からの距離

調査日：7/10、8/10、9/10

3 普及活動の成果

(1) 樹齢40年以上の成木の結果母枝長は20cm～30cm程度、カットバックした樹では30cm～50cm程度であった。1結果母枝当たりの結果枝数は両処理区とも2本程度、着穂数は2.1～3.8個となった。9月10日時点での着穂率は成木で10～46.4%、カットバック樹では6.7～9.1%であった（表1、表2）。

(2) 令和7年の着穂率は8/10時点では2園とも90%（データ省略）以上あり、栄養不良等の要因による早期落果は少ないと考えられる。N園において受粉樹からの距離が近い成木では着穂率は46.4%と高く、着穂率が低い樹では不受精等による後期落果が多いのではないかと考えられた。

また、近年の夏季の高温・少雨傾向の中で、直近5年間は着穂率は20～35%で推移している（データ省略）。令和7年も夏季の高温乾燥や8月上旬の多雨（広瀬アメダスポイント 224mm 平年の3.8倍）による影響があるのではないかと考え、過去の気象データから最高気温や降水量と着穂率の関係を確認したが判然としなかった（デー

夕省略) (表1、表2)。

(3) 表3から結果母枝の基部径8mm以上では8mm以下より着穂数が多く、着穂数を確保するためには充実した結果母枝を確保することが大切であることが分かった。

以上の結果より、クリの生産量を確保するためには、優良な結果母枝の確保と生理落果防止のための受粉樹が必要であり、老木園等では十分に確保されていないことが推察される。

表1 結果母枝と着穂状況 (N園)										
調査区 (N園)	結果母枝長(cm)	結果母枝基部径(mm)	結果母枝先端部径(mm)	新梢数/結果母枝	結果枝数/結果母枝	結果枝長(cm)	着穂数/結果母枝 (7/10)	着穂数/結果母枝 (9/10)	着穂率 (%) (9/10)	受粉樹からの距離 (m)
成木1 (見本樹)	18.2	7.1	5.6	3.1	2.4	16.4	3	0.3	10	29
成木2	19.2	7.7	6.2	4.2	2	18.3	3.2	1.3	46.4	7
カットバック (5年後)	34.4	11.3	8.2	7.1	2.6	36.3	3.8	0.3	9.1	20
調査日 2025年7月10日 9月10日 品種: 岸根										
各処理区は結果母枝10本の平均										

表2 結果母枝と着穂状況 (M園)									
調査区 (M園)	結果母枝長(cm)	結果母枝基部径(mm)	結果母枝先端部径(mm)	新梢数/結果母枝	結果枝数/結果母枝	結果枝長(cm)	着穂数/結果母枝 (7/10)	着穂数/結果母枝 (9/10)	着穂率 (%) (9/10)
成木	32.3	7.9	5.5	5.5	2	22.2	2.7	0.4	15.4
カットバック (5年後)	55.6	9.8	6.9	8.5	1.5	28.3	2.1	0.1	6.7
調査日 2025年7月10日 9月10日 品種: 岸根									
各処理区は結果母枝10本の平均									

表3 基部径の違いによる着穂数、着穂率					
調査区	7/10調査			9/10調査	
	基部径8mm以上の結果母枝の割合 (%)	基部径8mm以上の結果母枝の着穂数	基部径8mm以下の結果母枝の着穂数	基部径8mm以上の着穂率 (%)	基部径8mm以下の着穂率 (%)
N園 成木1 (見本樹)	20	3.5	2.9	0	13
N園 成木2	40	4.3	2.7	52.9	25
N園 カットバック	90	4.1	1	9	0
M園 成木	40	2.2	1	6.7	25
M園 カットバック	90	3.8	2	5	0
調査日 2025年7月10日 9月10日 品種: 岸根					

4 今後の普及活動に向けて

得られた結果を参考に今後の指導に役立てたる。